

FUKUSHIMA

JFA
ACADEMY

JFA アカデミー
福島

JFA アカデミー福島の情報はホームページをご覧ください。▲



概要

福島県、広野町、楳葉町の協力のもと日本サッカー協会直轄事業として運営しています。

2011年3月11日の東日本大震災により福島県内での活動が不可能になり、静岡に一時移転して活動をしていましたが、2024年度より男女ともに完全に福島県での活動を再開しました。

JFA アカデミー福島は、寮を完備し、『寄宿制』を採用しています。チーム登録をして公式戦に参加しています。

ゲーム環境

男 子（3年間プログラム）	女 子（6年間プログラム）
中学生3カテゴリーでトレーニングを行い、リーグ戦や大会に参加します。	中学生と高校生は合同でトレーニングを行い、リーグ戦や大会に参加します。
○高円宮杯 JFA 全日本 U-15 サッカー選手権大会 ○日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会 ○高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ 東北みちのくトップリーグ ○高円宮杯 JFA U-15 サッカーリーグ 2025 福島 兼 福島県トラック協会杯 U-15 サッカーリーグ 1 部 ○東北 U-13 みちのくリーグ	○プレナスなでしこリーグ 2 部 ○THFA 東北女子サッカーリーグ 2 部 ○皇后杯 JFA 全日本女子サッカー選手権大会 ○日本クラブユース女子サッカー大会（U-18） ○高円宮妃杯 JFA 全日本U-15女子サッカー選手権大会

学校・寮

居住地の学区にある公立学校に通学し、学校生活を送ります。サッカーのプログラムだけでなく、学生にふさわしい学校生活・社会生活を大いに重視しながら、勉強面での指導も行います。

男 子（3年間プログラム）		女 子（6年間プログラム）	
中 学 校	広野町立広野中学校	中 学 校	楳葉町立楳葉中学校
高 校	—	高 校	福島県立ふたば未来学園高等学校
寮	広野町立サッカー支援センター 柊	寮	サッカー人材育成支援センター

スケジュール（男子・女子）

	6:00	7:00	8:00	9:00 ~ 15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
中学生 高校生	起床&清掃	朝食	登校	学校	下校	トレーニング	帰寮・入浴	夕食	学習 プログラム			(中学生) 消灯 (高校生) 消灯



JFA プログラム（男子・女子）

英会話	言語技術講義（ロジカルコミュニケーションスキル）	
オンライン学習サービス		マナーセミナー
労作体験（稲作等）	健康教育	AED 講習
地域行事参加	栄養セミナー	ASE

※内容はアカデミーや年度によって異なります。



代表活動 ※アカデミー在籍中

各年代の代表選手も輩出しています。

男 子（3年間プログラム）			女 子（6年間プログラム）	
—	—	2024	FIFA U-20 女子ワールドカップ（コロンビア）	1名
—	—	2023	FIFA U-17 女子ワールドカップ（ドミニカ共和国）	4名
—	—	2022	アジア競技大会（杭州）	2名
—	—	2022	FIFA U-20 女子ワールドカップ（コスタリカ）	2名
—	—	2021	FIFA U-17 女子ワールドカップ（インド）	5名
—	—	2020	—	—
AFC U-19 選手権予選（モンゴル）	1名	2019	AFC U-19 女子選手権（タイ）	2名
FIFA U-17 ワールドカップ（ブラジル）	1名		AFC U-16 女子選手権（タイ）	4名
AFC U-16 選手権（マレーシア）	1名	2018	FIFA U-20 女子ワールドカップ（フランス）	1名
—	—	2017	FIFA U-17 女子ワールドカップ（ウルグアイ）	4名
—	—		AFC U-19 女子選手権（中国）	2名
AFC U-16 選手権（インド）	1名	2016	AFC U-16 女子選手権（タイ）	5名
AFC U-16 選手権予選	1名	2015	FIFA U-17 女子ワールドカップ（ヨルダン）	2名
			AFC U-19 女子選手権（中国）	1名
			AFC U-16 女子選手権（中国）	4名

※2020年・2021年：大会中止

JFA アカデミー福島について

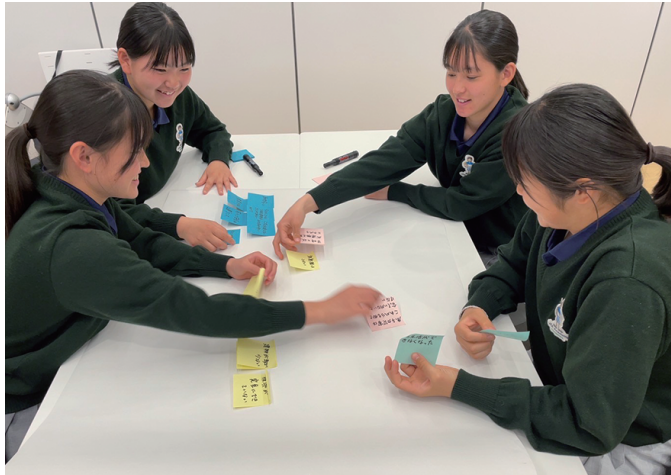


男女統括ディレクター

山口 隆文

JFA アカデミー福島は、男子は福島県双葉郡広野町にて3年プログラム、女子は双葉郡柞葉町にて6年プログラムで活動しています。男子は広野中学校、女子の中学生は柞葉中学校、高校生はふたば未来学園高校に通いながら、『常に（どんなときでも、日本でも海外でも）ポジティブな態度で何事にも臨み、自信に満ち溢れた立ち居振る舞いのできる人間を育成する。』というフィロソフィーのもと、真のエリート（先頭に立って社会に貢献するリーダー）になれるよう様々なことに取り組んでいます。日々のトレーニングに加えて、オフ・ザ・ピッチでも、「言語技術」「英会話」「労作・地域交流」などの様々な JFA プログラムを実施しています。

JFA アカデミー福島は、グラウンドの近くに最適の寮施設があり、成長期にある選手達にとって最も大切な食事（アスリートに必要な栄養）と8時間の睡眠がとれる、身体の成長を促せる環境を整えています。トレーニングでは、「世界基準」と「個の育成」を常に意識し、この年代で大切な動きながらのテクニックや、個人戦術を中心に、強度と質を確保したトレーニングを実施しています。スタッフ一同、選手の夢の実現のため全力でサポートしていきます。



卒校生からのメッセージ



横浜F・マリノス

植中 朝日

（9期生）

プログラムがあり、一人の人間としての幅も広がったと思います。ぜひ皆さんも JFA アカデミー福島で、自分の夢の実現に向けて頑張ってください！



JFA アカデミー福島9期生で、現在横浜F・マリノスでプレーしている植中朝日です。ここでの6年間の活動を通して、サッカー選手としてはもちろん、人としても大きく成長することができました。

全国から集まった仲間たちと、最高のグラウンドで行うトレーニング。そしてトレーニングが終わってからすぐにとれる栄養満点の食事など、JFA アカデミー福島の環境はとても恵まれていたと、プロサッカー選手になった今でも感じています。

サッカー以外にも、コミュニケーションスキル、マナーセミナー、英会話など様々な



ノースカロライナ・カレッジ/アメリカ

松窪 真心

（12期生）

が、チームのための立ち振舞いが、チーム・組織にもいい影響を与えることに繋がることを理解することができました。全国規模での大会にも参加するので、チームとしての喜びもとても感じることができる環境だと思います。中学生・高校生年代で自立した生活をし、英語や栄養に関するプログラムを早い段階で学べたことは、今のプロ選手としての生活に非常に活かされていると思います。

是非、サッカーを楽しむという気持ちを忘れずに、みなさんのことを大きく成長させてくれる JFA アカデミー福島という素晴らしい環境にチャレンジしていただければと思います。

卒校生進路（卒校時／過去4年） ※順不同

男 子（3年間プログラム）

<クラブチーム>

ベガルタ仙台ユース（宮城県）
モンテディオ山形ユース（山形県）
福島ユナイテッド FC U-18（福島県）
鹿島アントラーズユース（茨城県）
水戸ホーリーホックユース（茨城県）
浦和レッズユース（埼玉県）
大宮アルディージャ U18（埼玉県）
柏レイソル U-18（千葉県）
アルビレックス新潟 U-18（新潟県）
名古屋グランパス U-18（愛知県）
セレッソ大阪 U-18（大阪府）
サンフレッチェ広島 F.Cユース（広島県）
サガン鳥栖 U-18（佐賀県）
V・ファーレン長崎 U-18（長崎県）

習志野市立習志野高等学校（千葉県）
船橋市立船橋高等学校（千葉県）
流通経済大学付属柏高等学校（千葉県）
桐光学園高等学校（神奈川県）
日本大学藤沢高等学校（神奈川県）
山梨学院高等学校（山梨県）
帝京長岡高等学校（新潟県）
富山第一高等学校（富山県）
星稜高等学校（石川県）
静岡県立藤枝東高等学校（静岡県）
海星高等学校（三重県）
三重県立四日市中央工業高等学校（三重県）
東山高等学校（京都府）
大阪桐蔭高等学校（大阪府）
興國高等学校（大阪府）
神戸弘陵学園高等学校（兵庫県）
滝川第二高等学校（兵庫県）
立正大学淞南高等学校（島根県）
広島県瀬戸内高等学校（広島県）
日章学園高等学校（宮崎県）
神村学園高等部（鹿児島県）

<高校>

八戸学院光星高等学校（青森県）
尚志高等学校（福島県）
鹿島学園高等学校（茨城県）
前橋育英高等学校（群馬県）

女 子（6年間プログラム）

<クラブチーム>

FC バイエิร์น・ミュンヘン（ドイツ）
フェイエノールト・ロッテルダム（オランダ）
マイナビ仙台レディース
三菱重工浦和レッズレディース
ちふれASエルフェン埼玉
AC長野パルセイロ・レディース

<大学>

サンタクララ大学（アメリカ）
フロリダ工科大学（アメリカ）
メンフィス大学（アメリカ）
順天堂大学
新潟医療福祉大学
日本体育大学
立教大学

